

関谷友加里 piano
須川崇志 contrabass

2025 06月14日(土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=3300+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



須川崇志

群馬県伊勢崎市出身のジャズベーシスト。11歳からチェロ、18歳からコントラバスを始め、パークリー音楽大学卒業後、ニューヨークで菊地雅章氏に師事。帰国後は日野皓正クインテット、渡辺貞夫カルテットなどに参加。現在は自己のトリオ Banksia Trio (林正樹、石岩駿)をはじめ、峰厚介カルテット、本田珠也トリオ、八木美知依トリオ、藤井郷子 TOKYO Trio など多くのグループに参加し、東京 JAZZ やモントルー・ジャズ・フェスティバルなど、国内外のジャズフェスティバルに出演も多数。近年は、俳優・金子あいの舞台「平家物語」の音楽をソロ演奏で担当。Audi A5 新車発表会 (2017)、岡本太郎記念館での写真展「日本の原影」(2019-20)、パブリックアート作品のための音楽制作も手掛ける。2018年にデビューアルバム「Outgrowing」(Leo Genovese, Tom Rainey) を発表、Banksia Trio では3枚のアルバムをリリースしている。最新作は2023年発表の同トリオの作品「MASKS」。



関谷友加里

ピアニスト / 作曲家 大阪府出身。うねりと間を活かした独自の演奏スタイルと、歌心のある鮮やかなオリジナル曲を生み出す音楽家。4歳よりピアノを弾き始め、17歳でエレキベースの兄のバンドでライブデビュー。大阪音楽大学短期大学部でジャズを学び、在学中より演奏活動を始める。首席で卒業後、ポールプレイに傾倒。フリーインプロヴィゼーションと作曲に注力した活動へシフトする。2004年、ピアノトリオでの全曲オリジナル 1st ミニアルバム「a sunset glow」を発表。2008年、水谷イズル氏 (映像作家) のワークショップへ自作曲を提供。2009年、森定道広 (b) 率いる集団「メロンオールスターズ」でロシアツアーに参加。バイカル湖畔でのオリフォンフェスタ'09に出演。2010年、「関谷友加里オーケストラ」を結成。2011年、自己のグループ「関谷友加里トリオと田中ゆうこ」(通称せきちゅう)「ありふれた愛なので・・・」を全国リリース。2013年、石川県加賀温泉郷フェス2013、せきちゅうでグランプリを受賞しメインステージへ出演。2020年、Home Studio より即興と風景の Solo Improvisation Project「Out of the Window」を始動。2023年、森下周央彌 (gt) とのユニット「sepia-avaruutta」を始動。2024年、ポーランドのサクソ奏者、Adam Pierończyk とのデュオ初共演で好評を得る。大塚恵 (b)、大森ひろ (ds) とのピアノトリオ「Mapaternal」、有本羅人 (tp, bcl) との双頭リーダーグループ「Quantum Standard Quartet」を始動。現在、即興 (抽象) と作曲 (具体) をシームレスに繋げ深めることを軸に全国で活動中。国内外のジャンルの垣根を越えた音楽家や舞踏家、画家などの表現者と共演も多く、「感情が揺さぶられる音楽」と各方面のファンに支持されている。大阪音楽大学ジャズ専攻非常勤講師。2025年春、8人の音楽家とのデュオを収録した2枚組「DUETS Till Now, From Here」をリリース。「Umishima Records」を立ち上げ、こだわりのグッズ制作を展開している。